



Team石川



小中一貫CSだより第59号 令和3年2月26日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：石川小・中学校や地域に誇りと感謝をもつ生徒

第4回学校運営協議会

2月22日(月)に、石川中学校図書室で、今年度最後の学校運営協議会が行われました。主な内容についてお知らせします。

まず、小・中学校から学校評価の説明がありました。小学校からは、児童の思いやりの心を育てるための手立て、学びに向かう姿勢を強化するための取り組み、開かれた学校をより一層展開するための方策についての改善策が提示されました。中学校からは、学習意欲を高めるための手立て、わかる授業の展開、家庭学習を定着させるための取り組み、情報モラル教育の充実についての改善策が提示されました。また、来年度の石川中学区教育自立圏推進プランも提示され、学校運営協議会の来年度の取り組みや活動内容、日程について確認しました。

後半は、弘前市教育委員会学校整備課と小中学校等複合施設の設計施工業者から、複合施設についての説明がありました。先月に出された提案についての小学校、中学校、出張所、公民館、児童館から出された要望に対して、可能な部分は意見を取り入れていくという回答がありました。また4月以降、地域住民対象とした説明会を行い、広く意見を集める予定であること、それらを受けて6月から設計作業に入ることが確認されました。地域のみなさまには、説明会にぜひ出席して意見をを出していただければと思います。CSだよりでは、今後も複合施設に関する情報を紹介していきます。



石川中学校新入生入学説明会実施

2月8日(月)に、石川中学校体育館で、石川小学校6年生を迎えて入学説明会を実施しました。

まず、中学校生徒会執行部の生徒から、生徒会活動について丁寧な説明がありました。小学生は、児童会との活動内容の違いや、役員が選挙で選ばれることなどを知りました。続いて中学校の先生方からは、教科によって先生が替わることや小学校とは違う教科があること、制服、校内生活のきまり、部活動などについて、説明を受けました。小学生からは、「中学生になるという自覚を



持って勉強に取り

組みたい。」とか「勉強と部活を両立させたい」、「中学校のルールを早く身に付けて中学校生活を楽しみたい」という感想が聞かれました。一方で、新しい環境や、勉強が難しくなることに対する不安の声も聞かれました。進学しても石川地区で暮らすことは変わらないので、地域の方々がみなさんを温かく見守ります。安心して進学しましょう。また、中学校からはつなぎ教材も渡されたので、春休みにしっかり取り組みましょう。



今年も乗り入れ授業をしました！

石川小・中学校では、小学校6年生がスムーズに中学校生活になじめることを目的として、中学校の先生方が小学校6年生に授業をする「乗り入れ授業」を、毎年実施しています。今年も中学校の先生3人が、小学校に出向いて授業をしました。

1月28日(木)と2月12日(金)は、川村先生の音楽でした。歌うときの体の使い方や、言葉をはっきり発音することで歌に表情をつけることを学習しました。おかげで、6年生の歌声がとてもきれいになりました。2月9日(木)と18日(木)には、岩崎先生が理科の授業を行いました。水溶液の性質によりBTB溶液の色が変化する実験と、電磁誘導の実験に、6年生は目を輝かせながら取り組んでいました。2月15日(月)と16日(火)には、古



川先生が英語の授業を行いました。授業はほぼ英語で進められ、6年生は自己紹介やカルタゲームに取り組み、楽しく英語を学習していました。

中学校に進学してから勉強がわからなくなっても、みんな優しく親切な先生ですから、遠慮しないでどんどん質問して、苦手な教科を作らないようにしましょう。